★阿弥陀ケ峰の怪（日本昔ばなしより）

（筑前町図書館では、「阿弥陀ケ峰（あみだがみね）の古狸」という筑前町の紙芝居がネット配信されています。日本昔ばなしにも同じようなお話がありましたので、今回は、そちらの話を載せたいと思います。）

昔々、福岡県朝倉郡に阿弥陀ヶ峰という山があったそうな。この山にはいろいろなものに姿を変えては人に悪さをする化け物が住んでおった。

夜遅く山越えをして帰る村人を驚かせて物をとったりするが、とうとう阿弥陀様にまで化けておどかすようになった。そこで村人は山の阿弥陀堂に集まってどうすればよいか話し合うことにしたが、なかなかよい考えが浮かばない。

そうこうしているさなか、娘を人身御供に出せという化け物からの手紙が届いた。もし三日以内に出さなかったら牛や馬はおろか、人も殺すという。村人たちは話し合いを続けたが化け物のいうとおり娘を人身御供に出すしかないだろうという話になった。娘の親は頑として反対した。期日が迫った夜、とうとう村人たちは家を壊してでも娘を引きずり出そうという騒ぎになってしまう。（右へ続く）

（続き）

ちょうどその時、巡業の途中だという見知らぬ娘が現れ、人身御供の代わりになると申し出た。誰も出さずに済むことになった村人たちは一転して祝いの宴会を開き、三日目の夕方、娘を山に送り届けた。その夜、娘は焼け石を使う法力で化け物をやっつけてしまう。

次の日の朝、娘はこのことを村人に話し、山奥の洞穴を調べてみると、体のあちこちを焼かれた歳取った大タヌキが死んでいた。村人たちはそれを見て、自分たちが力を合わせて化け物に立ち向かわなかったことを深く詫びた。娘はそれを聞くと安心したようにほほえみ、再び旅立っていった。

村人たちはその不思議な娘を見送りながら、もしかするとあの人こそ阿弥陀様が身代わりを送って助けてくれたのかもしれないとはじめて気がつき、それからはどんなときでもみんなで力を合わせて暮らしたということです。

★地名の由来や伝承等ご存じの方は、下記までご連絡ください。

お問合せ：筑前町社会福祉協議会
（筑前町篠隈373コスモスプラザ福祉館）
ＴＥＬ：0946-42-4555（担当　時津、石丸）
Eメール：chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp

歴史を感じて

三輪⑦久光マップ

この資料は、「筑前町の歴史」、「夜須の民話と伝説」、インターネット等を引用し作成しています。

ぷら～り散歩

これからの時代、健康づくりが大切です。歴史を感じながら散歩を楽しみましょう。コロナに負けるな！

久光

神社	金毘羅神社
	五穀神
	田神社（埴安神社）
古墳	仙道古墳
伝承	阿弥陀ケ峰の古狸
その他	阿弥陀ケ峰城跡
	阿弥陀堂
	忠魂碑

三輪小学校校歌（１番）

明るい窓に　朝の空
あみだが峰の　みどり松
めくばり山も　見えている
三輪はよい里　よいところ
かわらぬ山に　新しい
強い力が　雲とわく

久光マップ

阿弥陀ケ峰の古狸（伝承）

阿弥陀ケ峰城

金毘羅神社

阿弥陀堂

五穀神社

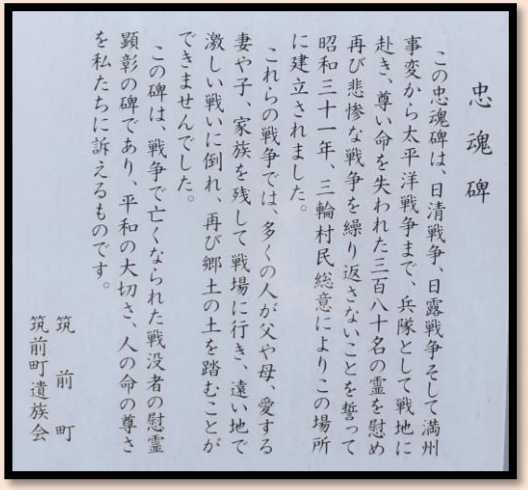
埴安神社

久光公民館

仙道古墳

仙道古墳では、2コースのパークゴルフを楽しめます。

忠魂碑



忠　魂　碑

この忠魂碑は、日清戦争、日露戦争そして満州事変から太平洋戦争まで、兵隊として戦地に赴き、尊い命を失われた三百八十名の霊を慰め再び悲惨な戦争を繰り返さないことを誓って昭和三十一年、三輪村民総意によりこの場所に建立されました。

これらの戦争では、多くの人が父や母、愛する妻や子、家族を残して戦場に行き、遠い地で激しい戦いに倒れ、再び郷土の土を踏むことができませんでした。

この碑は、戦争で亡くなられた戦没者の慰霊顕彰の碑であり、平和の大切さ、人の命の尊さを私たちに訴えるものです。

筑　前　町
筑前町遺族会